

2018年度 認知神経リハビリテーション・ベーシックコース（福島・プログラム）

1日目

[リハビリテーション脳科学]

09:20- 認知の樹（映像）

09:30-10:30 講義1) 行為と認知のニューロサイエンス（園田）

- ① 脳の知覚運動制御メカニズム
- ② 運動意図(予測)と運動イメージ
- ③ 運動学習モデル(スキーマ理論、比較学習)、身体意識、行為の多感覚統合

10:40-11:40 講義2) 片麻痺の機能回復神経学(restorative neurology)（園田）

- ① 痙性麻痺と錐体路
- ② 機能解離と半球間抑制
- ③ 片麻痺の機能回復とリハビリテーション治療

[認知神経リハビリテーション入門]

11:50-12:40 講義3) 認知神経理論（三田）

- ① 身体と環境の相互作用
- ② 認知過程からみた回復と学習の類似性
- ③ 行為の全体性、複合性、拡張性と行為の創発原理

13:40-15:10 演習1) 病態分析と病態解釈（大越・全講師）

- ① 脳画像検査や手術所見などから得られる情報から数量化、視覚化可能な検査チャートによる評価まで
- ② 外部観察・・・姿勢と動作の特徴（自発的・規定動作）、神経学的病理、特異的な運動の異常要素、行為システム
- ③ 内部観察・・・認知過程の変質、意識経験の変質、観察のためのプロフィール、一人称言語記述、意識の志向性

15:30-16:20 講義4) 行為の機能システムと情報メカニズム(園田)

- ① 身体を情報の受容表面と捉える
- ② 行為・機能・情報のヒエラルキー
- ③ 行為の機能システムの回復のための情報の構築

16:30-17:20 講義5) 道具と訓練（三上）

- ① 道具の名称
- ② 物理的道具と心理的道具
- ③ ツールとしての訓練器具・運動イメージ・言語・他者観察

17:30-18:20 演習2) 認知問題と訓練の組織化（徳原・全講師）

- ① 身体部位、訓練段階、感覚モダリティ 認知問題
- ② 空間問題と接触問題
- ③ テーマ(身体部位)、内容・方法・検証

2日目

[認知神経リハビリテーションの実際]

09:20-12:50 演習3) 行為の機能システムと認知神経リハビリテーション

- ① 行為システムと訓練器具の関係
- ② 難易度の調整
- ③ 基本的手続きと実技

[I]上肢の機能システムと訓練の実際 (大越・全講師)

[II]体幹の機能システムと訓練の実際 (三田・全講師)

[III]下肢の機能システムと訓練の実際 (徳原・全講師)

[脳のなかの訓練室]

13:40-14:25 講義6) 失行症の病態解釈と回復の探求 (遠藤)

- ① 「行為のトランスフォーメーション(変換)」としてみた左半球障害の特徴
- ③ 失行症の病態 (肢節運動失行・観念運動失行・観念失行)
- ④ 失行症の治療 (動作的・映像的・言語的表象の同種・異種感覚情報変換、道具使用)

14:25-15:05 講義7) 半側空間無視の病態解釈と回復の探求 (中田)

- ① 「行為のスペース・インテグレーション(空間統合)」としてみた右半球障害の特徴
- ② 半側空間無視の病態 (注意障害、身体空間・身体周辺空間・身体外空間)
- ③ 半側空間無視の治療 (身体の正中線、体性感覚空間への注意、行為の多感覚統合)

15:15-16:00 講義8) 失語症の病態解釈と回復の探求 (木川田)

- ① 「言語行為」としてみた失語症の病態解釈と訓練の基本構造 (意味解読：テーマとレーマ)
- ② 失語症に対する訓練の紹介～ 1)非言語・表情の絵カード 2)言語・主語 3)言語・修飾語 4)言語・述語 5)誤読抽出課題言語性空間課題と身体部位 6)言語性空間課題と身体部位
- ③ 症例を通した絵カード (道具) の訓練の実際

[身体化された認知]

16:00-16:30 講義9) 身体化された認知 (embodied cognition) の回復を目指して (園田)

- ① リハビリテーション身体論 ～フッサル、メルロ・ポンティ、ギブソン、ギャラガー、エーデルマン、ヴァレラ…
- ② 身体・物語・人生とロマンティック・サイエンス ～ルリア、サックス、ペルフェッティ…
- ③ 行為の記憶と想起された現在 ～認知運動療法から行為間比較への旅…

16:30- 認知の樹(映像)

終了